

令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技 【結果速報】

駆け上れ夢の舞台へ 燃止れ若人の魂

試合 M16 準々決勝

【2024/8/19】

鹿児島南 14 [4 - 6] 17 埼玉栄
 4 - 4
 3 - 4
 3 - 3
 PSO

審判1 西原 明日美

審判2 大坂 淳

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	大庭 竜一	38	17	37%
GK13	山口 諒真	0	0	

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	大木 悠吉	37	14	46%
GK13	山口 大和	0	0	

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	大庭 竜一			
2	篠原 修平	6	2	1
3	平川 歓大	2	1	3
4	牟田 翔樹	7	1	2
5	藤本 恵太	6	3	
6	揚野 悠聖	3	2	
7	築瀬 亮牙	12	5	
8	江籠 蓮斗	1		
9	有村 颯晟			
10	石田 海斗			
11	宮本 郡志			
12	越智 稟斗			
GK13	山口 諒真			

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	大木 悠吉			
2	池田 大空			1
3	吉川 道太郎	2	1	
4	稲垣 拓哉	5	2	1
5	菊池 俊来	10	6	
6	曾根 翔英			
7	茂呂 明			
8	松原 知希	4		3
9	久保田 開智			
10	和田 惇希	1		
11	皆川 大空	8	3	1
12	市野 玄大	8	5	
GK13	山口 大和			

令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会

第92回日本高等学校選手権水泳競技大会

水球競技 リザルトWebサイト

<https://j-waterpolo.net/24OhitaIH/index.html>



令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第92回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水球競技戦評

期日：令和6年8月19日（月）
会場：大分商業高等学校 水球プール

ゲームNo. 16

帽子の色 白

帽子の色 青

鹿児島南

埼玉栄

1 4

1 7

4	-	6
4	-	4
3	-	4
3	-	3
PSO		

審判1：西原 明日美

審判2：大坂 淳

戦評

福岡工業との九州対決を制した鹿児島南高等学校と5年ぶりの準決勝進出を目指す埼玉栄高等学校の準々決勝。

第1ピリオド、青、埼玉栄からのセンターボールで試合開始。

試合開始早々、青⑤菊池、ワンタッチシュートを決める。白⑦築瀬、ゴール前で振り向きざまにシュートを決める。青⑧松原、回し込みから退水を誘発し④稲垣が得点。白⑦築瀬、ゴール前で回し込みから2得点目。青④稲垣、技ありのループシュートを決める。白④牟田、退水を誘発するも得点に繋がらない。白③平川、フェイクからコーナーポスト直撃のシュートを突き刺す。青③吉川、ワンタッチシュートを決める。カウンターから青⑫市野、⑤菊池が得点を決める。白④牟田、ゴール前で回し込みから相手GKの頭上を抜くシュートを決める。青⑧松原、退水を誘発するもGK①大庭が好セーブ。

第2ピリオド、青⑪皆川、PFを誘発し⑤菊池が得点。白④牟田、ゴール前で退水を誘発するもGK①大木好セーブに阻まれる。カウンターから青④稲垣のパスを受けた⑪皆川が冷静に判断し、ループシュートを決める。白②篠原、ポスト直撃のミドルシュートを叩き込む。青⑤菊池、フックシュートを決める。白④牟田の鋭いパスに反応した②篠原が得点。白⑦築瀬、青⑪皆川、互いにミドルシュートを叩き込む。シュートリバウンドに反応した白⑦築瀬が得点。埼玉栄は、速攻からの素早い展開で攻撃を組み立てる。鹿児島南は、⑦築瀬を中心に攻撃を組み立て、互いに一歩も譲らない試合展開となった。埼玉栄が2点リードし、第3ピリオドを迎える。

第3ピリオド、青⑧松原、ゴール前で退水を誘発⑪皆川から打点の高いパスを受けた⑫市野が得点。白⑦築瀬、ゴール前で退水を誘発、⑤藤本が得点。青②池田、回し込みから退水を誘発するも得点に繋がらない。カウンターから青⑪皆川が得点。青⑧松原、パスカットから退水を誘発するもGK①大庭が連続セーブを魅せるも⑫市野の得点。カウンターから白⑤藤本、ミドルシュートを決める。白⑦築瀬、回し込みからPFを誘発し5得点目。青⑪皆川からアシストを受けた⑤菊池が得点。白⑦築瀬、退水を誘発するもGK①大木が好セーブ。

第4ピリオド、カウンターから青⑫市野が連続得点。4分18秒、鹿児島南T0。白⑥揚野、相手ディフェンスが下がった隙を見逃さずにシュートを決める。白④牟田、ゴール前で退水を誘発、⑤藤本が得点。1分39秒、埼玉栄T0。白⑥揚野がシュートを放ち得点。48秒、埼玉栄2回目のT0。青⑤菊池、ゴール前でバックシュートを決める。残り17秒、鹿児島南2回目のT0も得点に繋がらず、埼玉栄が準決勝進出を果たした。最後まで勝利に向け泳ぎ続けた両校を讃えたい。

記録者

今崎哲也・柳川洋志・菅原剛